

混迷する大学入試改革を乗り越えて ～横浜市立大学での取り組みから～

- I. 世界比較の視点で高大接続改革を考える
- II. 横浜市立大学での取り組みから



出光 直樹

横浜市立大学 アドミッションズセンター
(高等教育推進センター 併任)

専門職・学務准教授

045-787-2055

idemitsu@yokohama-cu.ac.jp

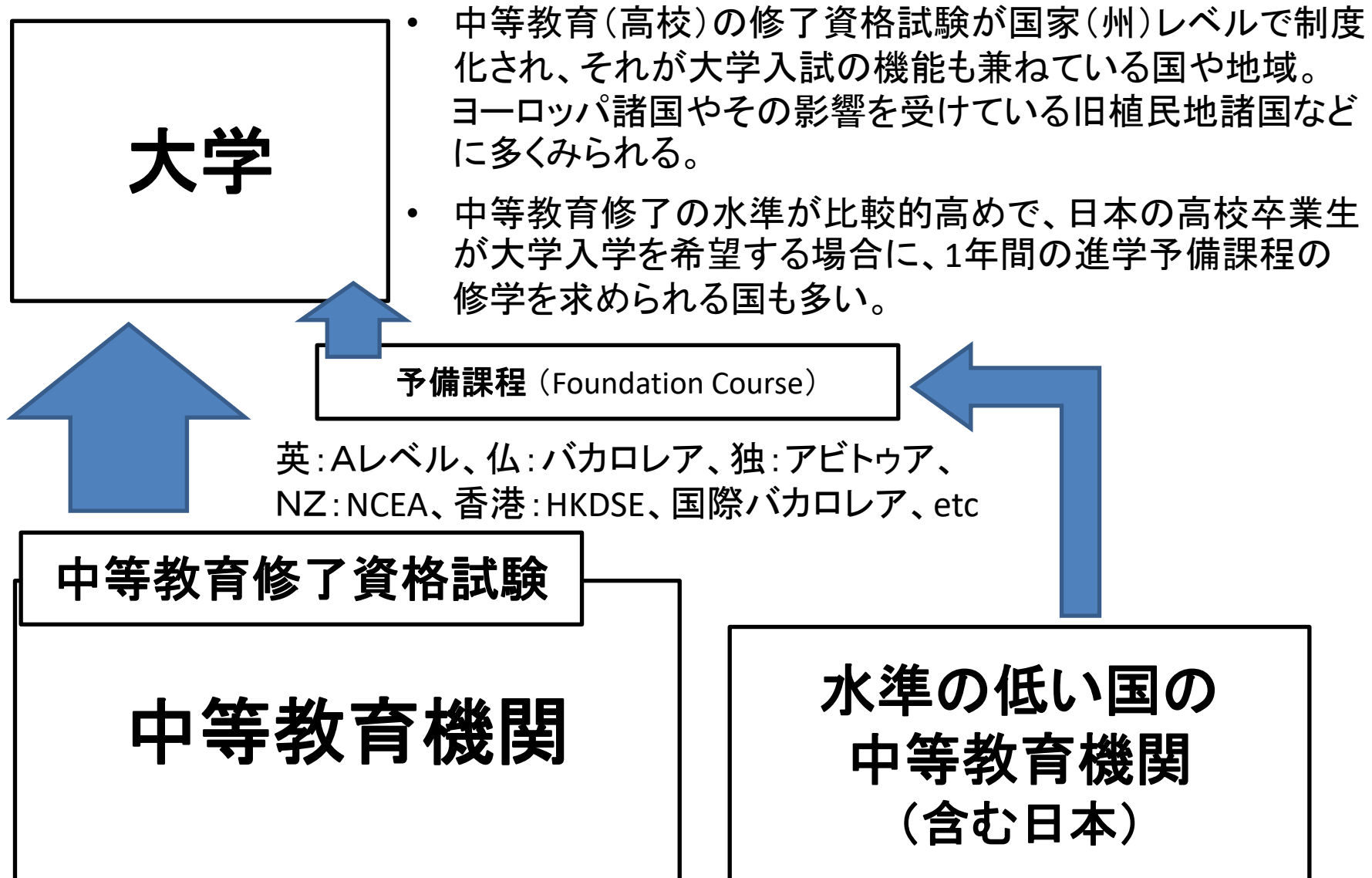
<http://www.idemitsu.info>

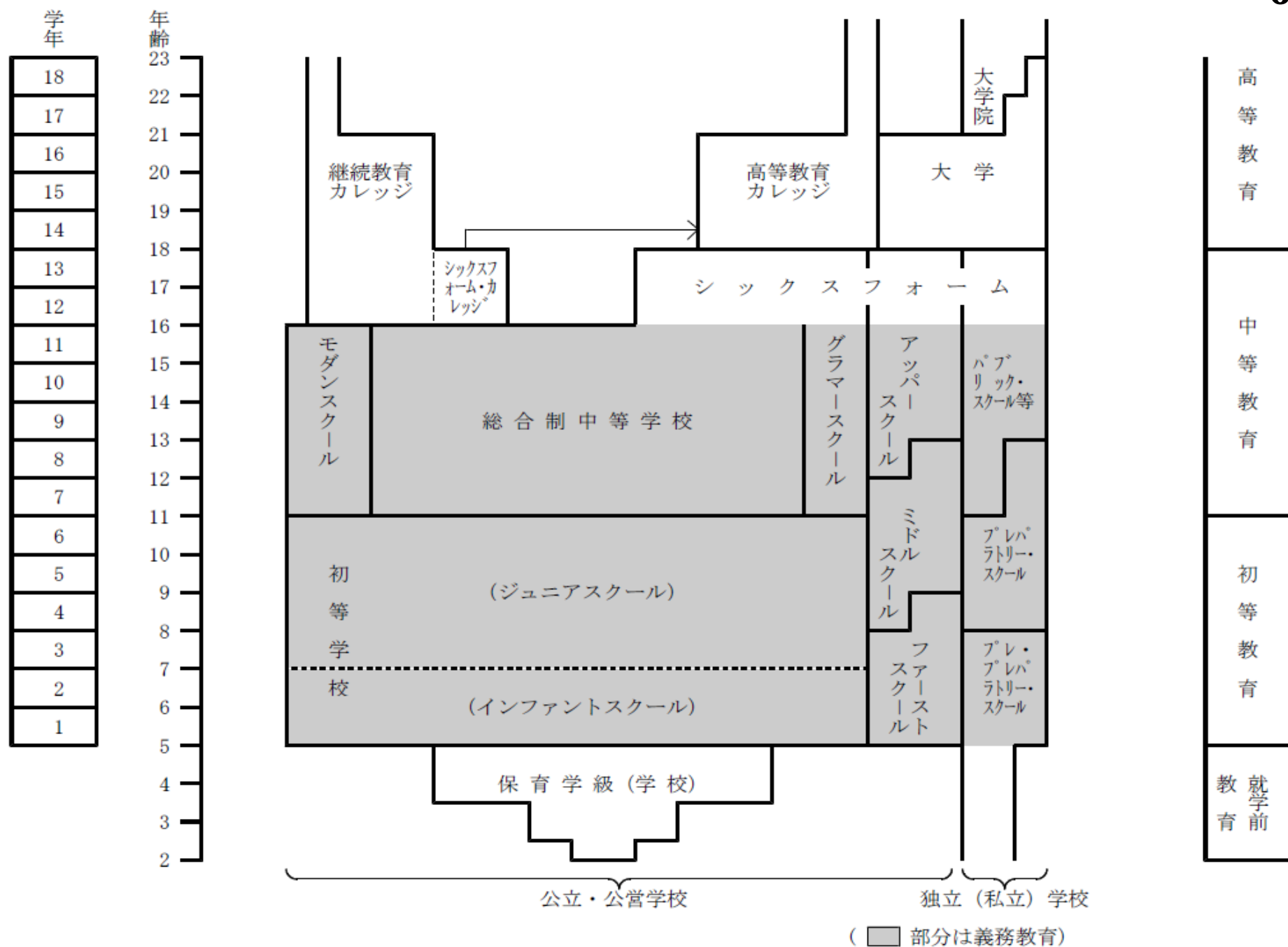
- 1967年 東京都出身、 1990年 札幌学院大学人文学部卒業。
- 桜美林大学大学院で高等教育論を専攻し1997年修士課程修了。
1999年博士後期課程を中退し同大学の職員に。
 - 大学院在学中は研究員としてFD/SDやIRのサポート、
大学院中退後は職員として入試広報等の業務に従事。
- 2005年から横浜市立大学に移り現職。
 - 事務局組織における専門職として、電話対応や願書処理等の実務とともに、
データ分析や新しい入試方法のデザインを担う。
 - 医学科入試については2013年より一貫して担当。
 - 2022年より高等教育推進センターも併任
- 2014年～2018年 桜美林大学 大学院大学アドミニストレーション研究科
授業科目『大学アドミッション』を担当。
- ◆ 主な学会・研究会活動： 大学教育学会(理事)、オセアニア教育学会(理事)、
関東地区大学教育研究会(幹事)

I . 世界比較の視点で高大接続改革を考える

1. 世界的に特殊な日本の高大接続
2. 結局中途半端な日本の高大接続改革
3. 高校生を“その気”にさせる大学への道筋を、
いかに“デザイン”するか

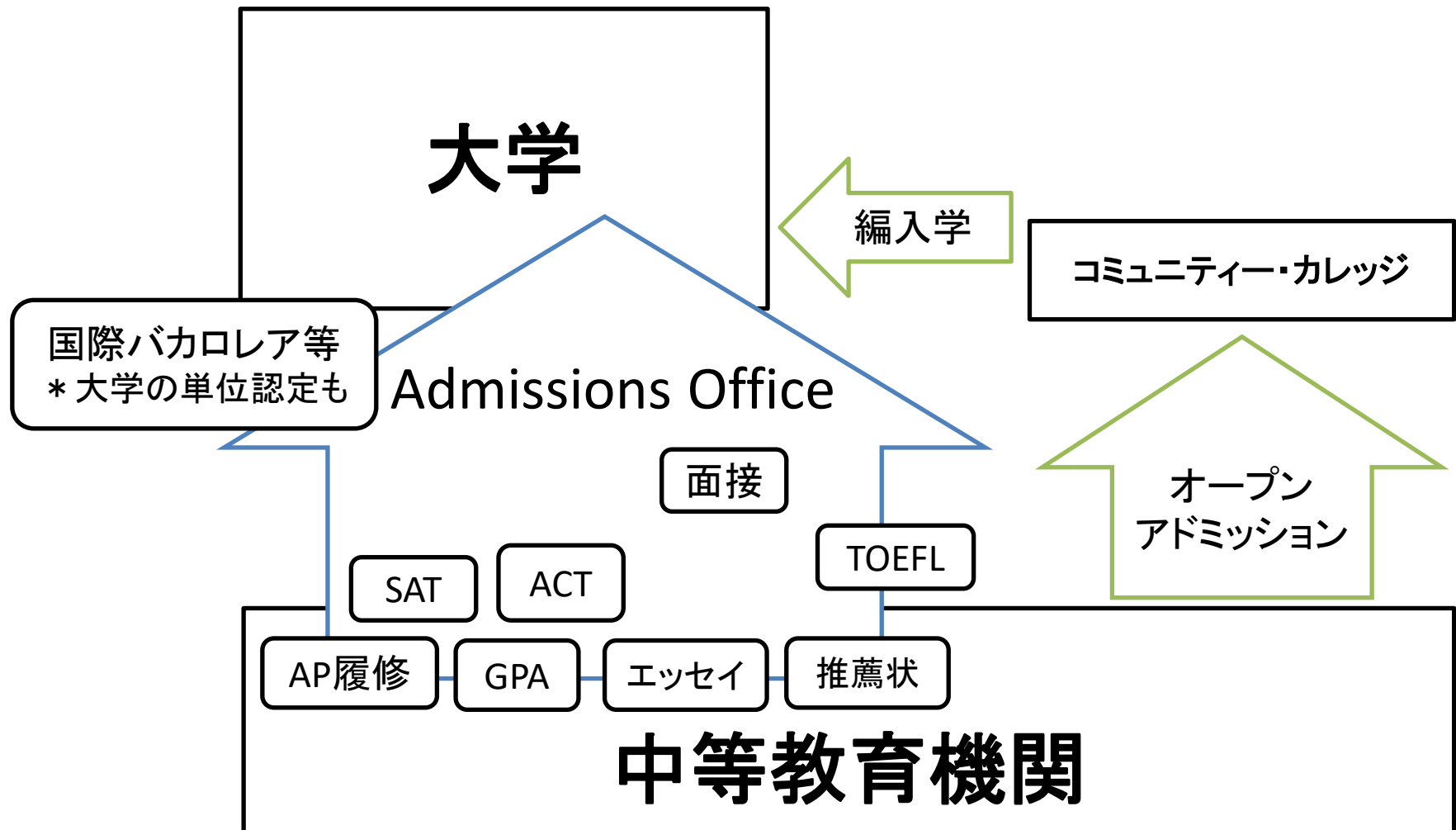
中等教育修了資格試験型

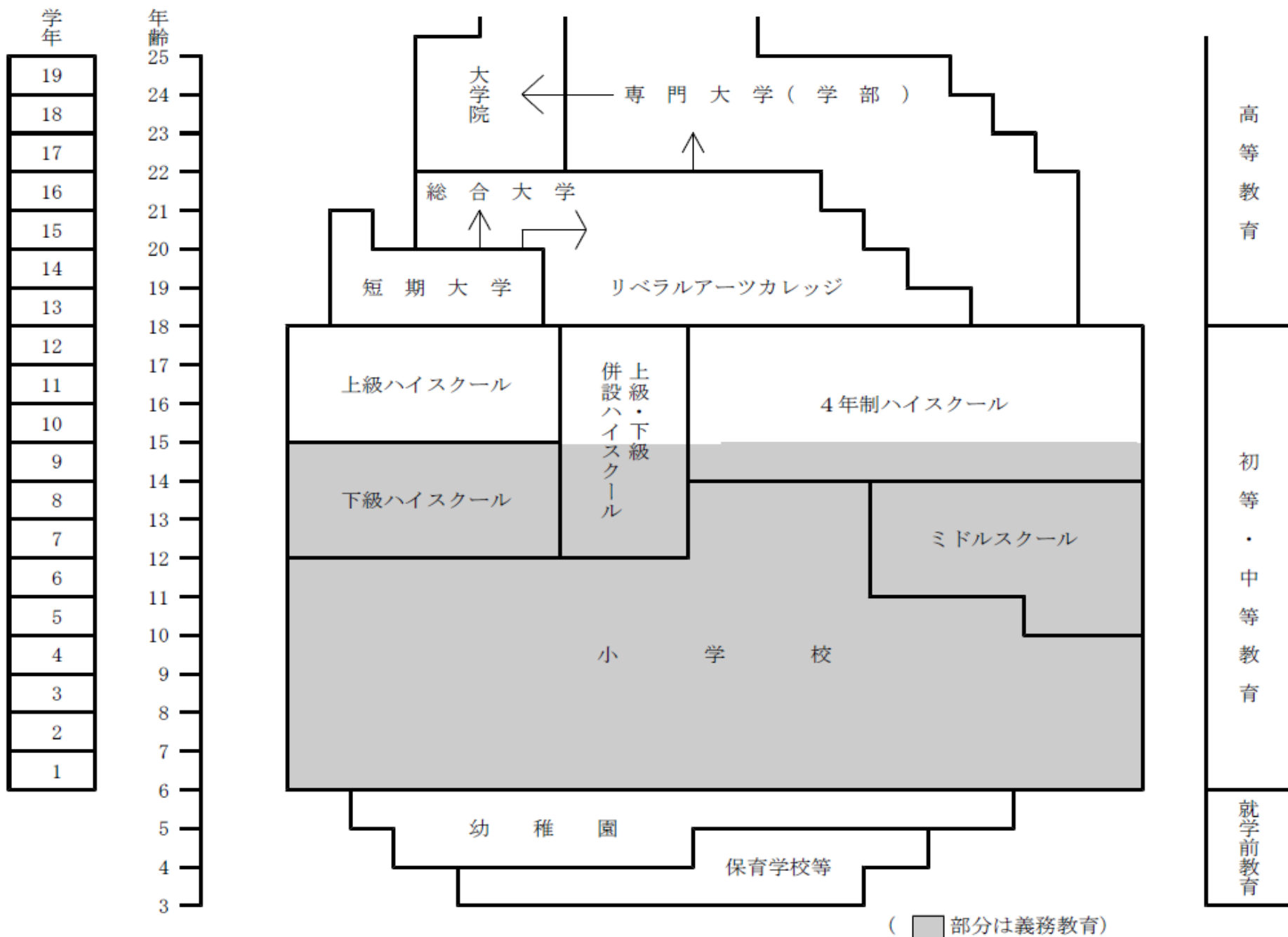




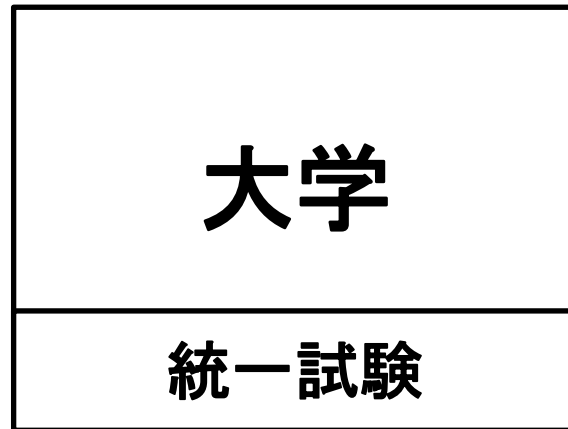
アメリカ型

- Admissions Office（入学者選抜室）の専門職員による書類審査が基本。
- 書類審査の材料として、様々な材料（標準テストも含む）を用いる。



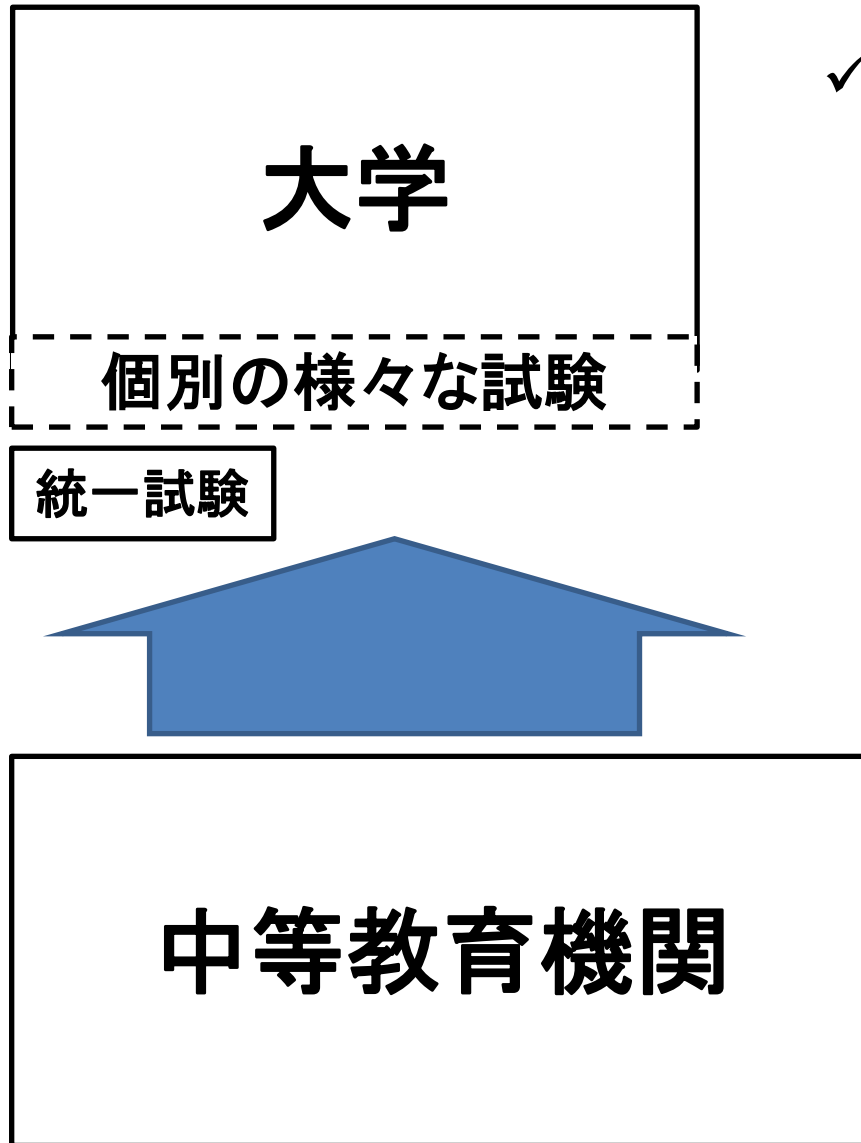


統一入試型

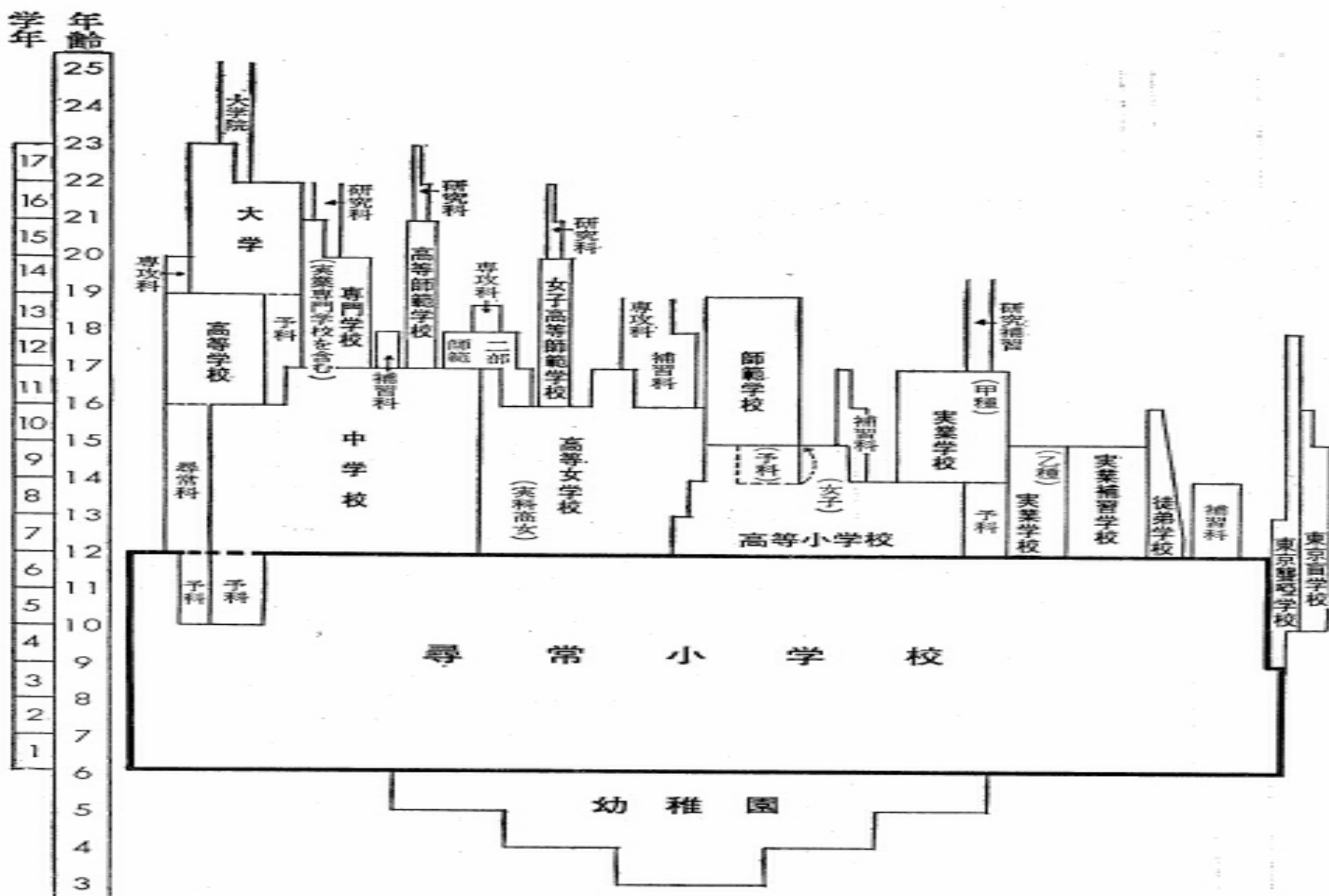


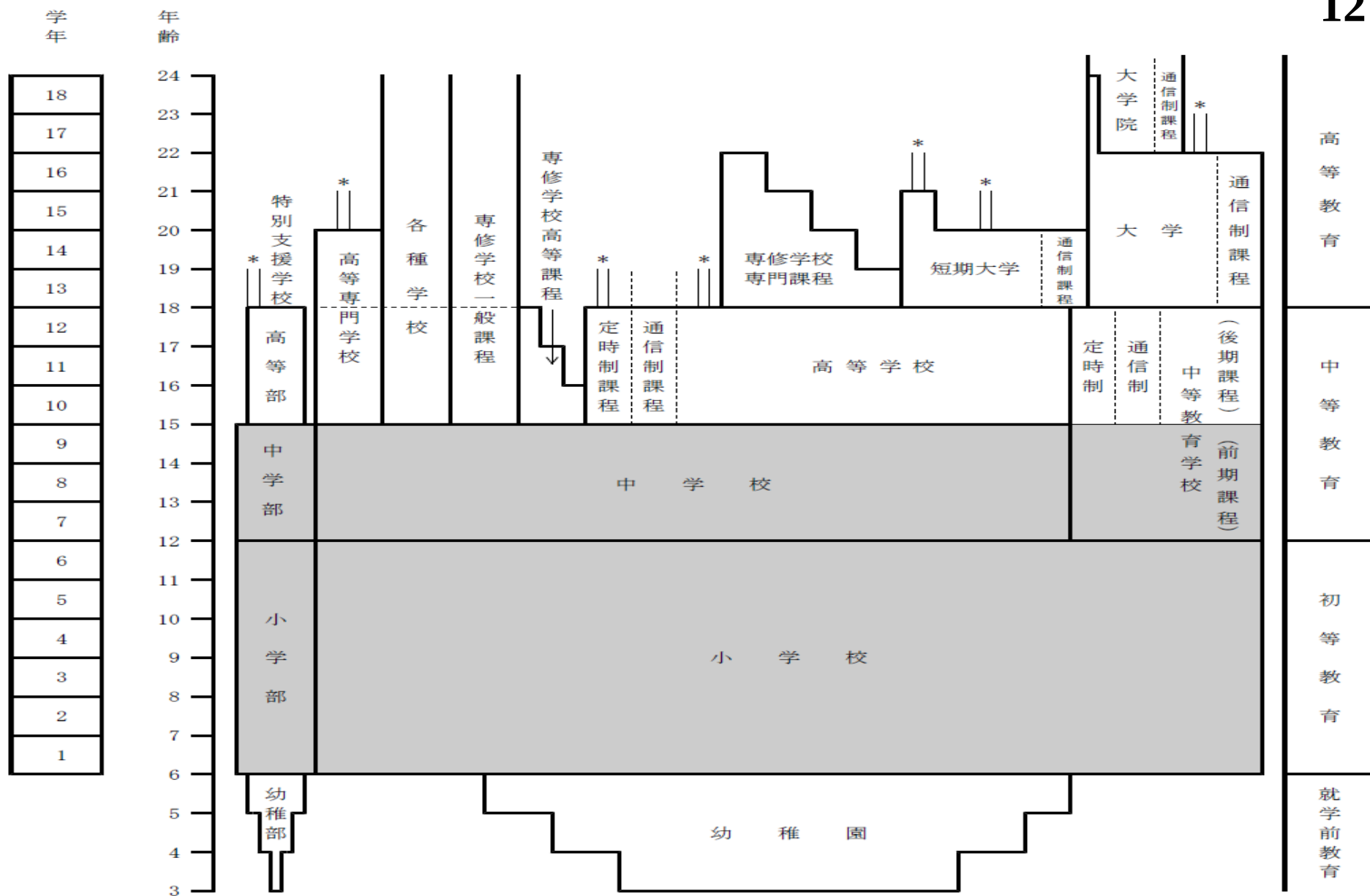
- 国家レベルの統一試験が実施されるタイプ。
 - 中国： 高考
(全国普通高等学校招生入学考試)
 - 韓国： 修能 (大学修学能力試験)
 - 台湾： 学測 (大学学科能力測驗)
- ただしこれらの国においても、統一試験に拠らない選抜方式が導入されている。
 - 韓国の入学査定官制度
(総合型選抜)

日本は・・・



- ✓ 日本は部分的に統一試験を実施活用するが、基本的には各大学が独自の試験を実施する、世界的に見て独特なスタイル。
 - － 一般入試、推薦入試、AO入試、留学生入試、帰国生入試、社会人入試などなど、日本の大学入試は、他国に例を見ないほど多様。





(注) (1) 部分は義務教育を示す。
 (2) * 印は専攻科を示す。
 (3) 高等学校, 中等教育学校後期課程, 大学, 短期大学, 特別支援学校高等部には修業年限1年以上の別科を置くことができる。

結局中途半端な日本の高大接続改革

- 高校生の「学力把握」 & 受験生の「選抜」
 - 諸外国のような中等教育の達成度を測る制度の無い中で、我が国は受験競争の圧力によって高大接続のための学力担保が図られてきた。
 - しかし、少子化による高等学校や大学への全入時代を迎え、高等学校の教育課程の多様化と大学の選抜機能の低下により、高等学校における基礎的教科・科目の普遍的な履修とその学力の担保が機能しなくなった。

【参考文献】

渡邊 一雄 編(2010)『大学の制度と機能』

<https://amzn.to/333IHU3>

佐々木 隆生(2012)『大学入試の終焉：高大接続テストによる再生』

<https://amzn.to/36kVH9W>

忘れられた「学力把握」の仕組みづくり

- 「高大接続テスト」(2010/9)
 - 大学入試センター試験は、基本的には各大学における選抜の判定資料となる**集団準拠型**の試験であり、これを基礎学力の達成度測定の為の試験として利用するのは不可能。
 - それゆえ「高大接続テスト」はセンター試験の改変ではなく、**目標準拠型**の新たなテストとして設計し、段階評価や複数回実施を取り入れる。



- 「高等学校基礎学力テスト」(2016/3)
 - 当面は大学入学者選抜(や就職)には活用しない。
- 「高校生のための学びの基礎診断」(2017/7)
 - 共通試験ではなく、一定の要件を満たした民間の試験等を認定。

コスト・パフォーマンスを省みない入試改革 15

(センター試験 ～ 共通テスト)

- リスニング試験の導入(2006年度～)
 - 試験時間の約9%、配点(素点)の約5%に対して、マニュアル(監督要領)に占めるページ数は約38%！
- 公民・理科での2科目受験方式(2012年度～)
 - 科目選択の弾力化と引き換えに、120分かけて1科目を解答する“裏技”と、それを封じる「第1解答科目」縛りの登場。
- 記述式問題(~~2021年度～~~ → 延期・中止？)
 - 50万人規模でかつ日程の限られた中での無理な要求。
- 英語4技能資格(~~2021年度～~~ → 延期・中止？)
 - 4技能の一体的評価への無意味なコダワリ
→ 従来型英検の不採用とTOEICの離脱。
- 教科「情報」の追加(2025年度～)

高校生を“その気”にさせる大学への道筋を、 いかに“デザイン”するか

- 現在進められている入試改革は、大学進学者層のほんの一部にしか影響を与えていない。

山村 滋／濱中 淳子／立脇 洋介(2019/8)

『大学入試改革は高校生の学習行動を変えるのか』ミネルヴァ書房

<https://amzn.to/2PxIIINl>

日本経済新聞(2019/8/12)

「2020年度の大学入試改革 高校生「学習離れ」防げず」

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO48406810Z00C19A8CK8000/>

- 2012年4月から3年間にわたって首都圏の公立高校(地元で1番手とみなされる進学校4校、3～4番手ほどに位置付けられる中堅進学校6校)の生徒約3300人を対象とした追跡調査による研究。
- “入試改革”は一部の進学校の生徒にしか影響を与えておらず、多くの高校生の学習行動の活性化には結び付いていないことが示唆される。

日本の環境における入試のデザイン

- 競争的選抜に用いる為の集団準拠的な指標と、母集団の設定や底上げの為の目標準拠的な指標の正しい使い分けと組み合わせ。
 - 共通試験、個別試験、外部資格の役割分担。
 - 1点刻みの一発勝負の納得性。
 - 出願前教育の工夫や育成型のデザイン
- 指定校制推薦のメリットとデメリット
- 中間層の高校生のための、目標準拠型標準テストの国家的必要性。

Ⅱ 横浜市立大学での取り組みから

<https://www.yokohama-cu.ac.jp/admissions/admissions/index.html>

1. 英語資格の出願要件化
2. 共通問題による“多様な”特別選抜
3. 指定校推薦：信頼関係に基づく高大接続
4. MMIを活用した医学科の推薦型選抜
5. 課題に思う事

学 部	PAGE	学 科	学 位	入学定員	キャンパス		特 色	教員数	取得できる資格
国際教養学部	P.32	国際教養学科	学士(学術)	270	金沢八景キャンパス	19	多様な学問群の中から多角的な視点と豊かな教養を育み、確かな外国語運用能力と思考力で、現代社会や都市の課題を解決できる人材を育成	専任教員数 43名	教員免許 (英語)
国際商学部	P.38	国際商学科	学士(経営学) 学士(経済学)	260	金沢八景キャンパス		グローバル企業に必要な経営管理能力や新事業を創造する企画立案力等「実学」を意識した、社会に変革をもたらすグローバル・リーダーを育成	専任教員数 27名	—
理学部	P.44	理学科	学士(理学)	120	金沢八景キャンパス 鶴見キャンパス 舞岡キャンパス		物理学、化学、生物学を基盤とし、生命現象を原子・分子・細胞・個体それぞれのレベルで解明し、融合的に物質科学と生命科学に挑んでいける人材を育成	専任教員数 69名	教員免許 (理科)
データサイエンス学部	P.50	データサイエンス学科	学士 (データサイエンス)	60	金沢八景キャンパス		数理や統計といった専門的な教育のみならず、文系理系にとらわれない広範な教育でビッグデータから「未来の芽」を見つけ出し、新たな社会的価値を創造するデータサイエンスのスペシャリストを育成	専任教員数 15名	—
医学部	P.58	医学科	学士(医学)	90	金沢八景キャンパス 福浦キャンパス	6年制	豊かな人間性と深い知性を有し、生涯にわたって研鑽を続け、医学・医療を通して、人類の福祉に貢献できる人材を育成	専任教員数 207名	医師 国家試験 受験資格
	P.66	看護学科	学士(看護学)	100	金沢八景キャンパス 福浦キャンパス		高い教養と専門性だけでなく、他者の痛み、喜びも理解できる豊かな人間力で未来の看護をけん引できるリーダーを育成	専任教員数 35名	看護師 保健師 国家試験 受験資格

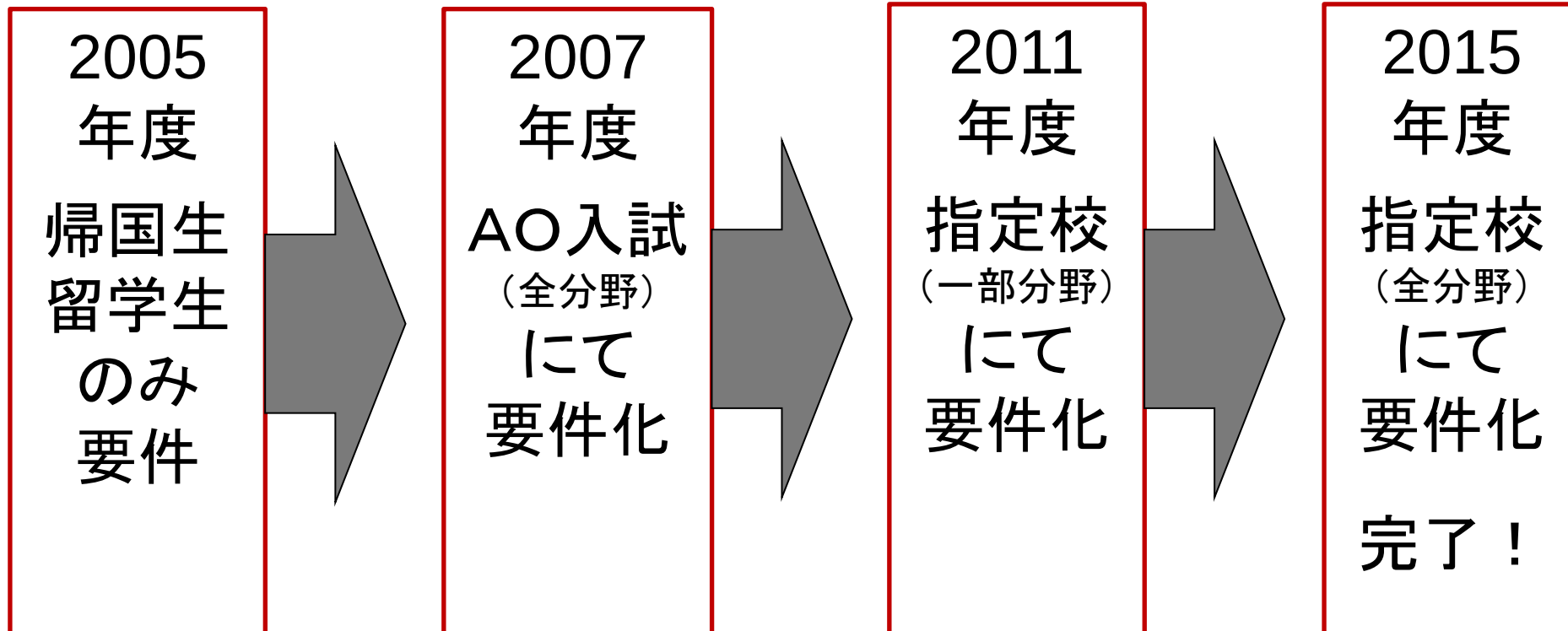
【入試日程・募集人員】 <予定> 2023 年 9 月～2024 年 3 月

◆:若干名 ★:外国人留学生特別選抜を「日本留学試験 2023 年 11 月」の成績見込で出願した者の合格発表・入学手続き日

選抜区分	募集人員	出願期間	試験日	合格発表	入学手続
総合型選抜	教養 25 商学 5 理学◆	9/1(金)～5(火)	1 次: 書類審査 2 次: 10/14(土)	1 次: 9/29(金) 2 次: 11/ 1(水)	20 12/15(金) ★1/19(金)
海外帰国生	教養◆ 商学◆ 理学◆ DS ◆ (科学オリンピックは 商学・理学・DSのみ)	9/5(火)～8(金)	10/7(土)	11/1(水) ★1/5(金)	
国際バカロレア					
科学オリンピック					
外国人留学生					
社会人					
指定校制 学校推薦型	教養 55 商学 50 理学 35 DS 10 看護 40	11/1(水)～6(月)	11/18(土)	12/1(金)	
	看護◆				
国際バカロレア	医学※ 2	10/27(金)～31(火)	1 次: 書類審査 2 次: 12/ 2(土) 3 次: 書類審査	1 次: 11/14(火) 2 次: 12/19(火) 3 次: 1/19(金)	2/14(水)
外国人留学生 (第2期募集)	教養◆ 商学◆ 理学◆	1/22(月)～31(水)	2/25(日)	3/9(土)	3/15(金)
大学入学共通テスト		10 月上旬	1/13(土)・14(日)		
総合型選抜	DS 5	10/10(火)～12(木)	1 次: 書類審査 2 次: 11/18(土) 3 次: 共通テスト	1 次: 11/ 2(木) 2 次: 12/ 1(金) 3 次: 2/ 7(水)	2/14(水)
特別公募制 学校推薦型	看護 5	11/1(水)～6(月)	1 次: 書類審査 2 次: 11/18(土) 3 次: 共通テスト	1 次: 11/10(金) 2 次: 12/ 1(金) 3 次: 2/ 7(水)	
	医学[県内]※12 医学[県外]※ 7		1 次: 書類審査 2 次: 12/ 2(土) 3 次: 共通テスト	1 次: 11/14(火) 2 次: 12/19(火) 3 次: 2/ 7(水)	
公募制学校推薦型	教養 30 商学 15 理学 10	1/9(火)～19(金)	<共通テスト>	2/7(水)	
一般選抜 (前期日程)	教養 A 105+B 55 商学 A 130+B 60 理学 A 45+B 20 DS 40 医学※69 看護 55	1/22(月)～31(水)	2/25(日) 教養 商学 理学 DS 医学(1 日目)	3/9(土)	3/15(金)
(後期日程)	理学 10 DS 5		2/26(月) 医学(2 日目) 看護		
				3/12(火)	3/20(水)

1. 英語資格等の出願要件化

- 一般選抜 & 公募推薦(共通テスト利用)以外の、全ての入試区分で英語資格を出願要件化。
- 総合型選抜、科学オリンピック特別選抜、海外帰国生特別選抜等では、高校の成績、科学オリンピックのコンテスト、SAT受験等の要件も組み合わせて、学力担保の仕組みをデザインし、出願者数を適正化。



【出願時に必要な英語資格等】

2021 年 4 月以降に受検した資格に限ります。 **22**
 ※日本数学オリンピック予選は 2021 年 1 月の第 31 回も含みます。

	教養	商学	理学	DS	医学	看護
総合型(AO)	※1	※2	※3	【B】		
指定校推薦	【B】	【B】	【B】	【B】		【B】
特別推薦					【A】	【B】
帰国生	【S】	※4	【A】	【A】		
国際バカロレア	【A】	【A】	【A】	【A】	【SS】	【A】
科学オリンピック		【B+】	※5	【B+】		
留学生	【A】	【A】	【A】	【B+】		
社会人	【A】但し GTEC 除く					

一般選抜・公募制学校推薦型選抜では、
英語資格等の提出は不要です。

【SS】 TOEFL- iBT80、または IELTS6.0

【S】 TOEFL- iBT76、または IELTS5.5

【A】 TOEFL-PBT500(iBT61)、TOEIC(L&R)600、英検準1級、
GTEC(検定版・CBT)1140、または IELTS5.0

【B+】 TOEFL-PBT480(iBT54)、TOEIC(L&R)550、英検2級 CSE2200、
GTEC(検定版・CBT)1070、または IELTS5.0

【B】 TOEFL-PBT460(iBT48)、TOEIC(L&R)500、英検2級、
GTEC(検定版・CBT)1000、または IELTS4.5

※1 評定平均(全体)4.3 以上の現役・1浪生は【B】、それ以外は【A】

※2 数学(商業)4科目を履修し評定平均(全体)4.0 以上の現役・1浪生は【B】、
日商簿記検定試験(第 158 回以降)2級以上取得者は【B】、
それら以外は【A】

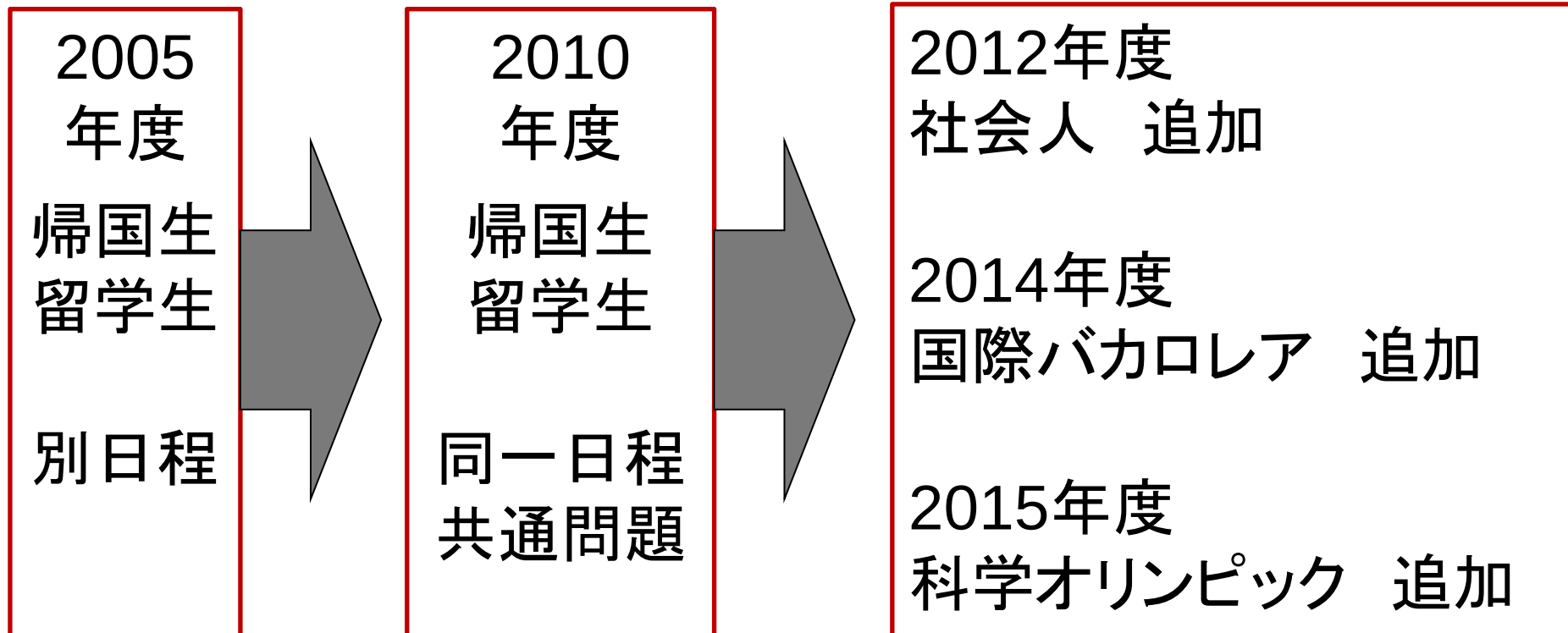
※3 評定平均(全体)4.0 以上の現役・1浪生は【B】、それ以外は【A】

※4 SAT(スコア不問)または数学検定準2級以上に加え、【A】

※5 2種類のコンテスト有資格者は【B+】、1つのコンテスト有資格者は【A】

3. 共通問題による“多様な”特別選抜

プロフィール設定(看板化)と、共通試験問題・
面接試験による一発勝負、の組み合わせ



2023(令和5)年度 横浜市立大学 入試結果

24

学部等 区分		国際教養学部				国際商学部				理学部				データサイエンス学部				医学部			全学計			
																		医学科	看護学科	学部計				
総 合 型 選 抜	募集	25				5				若干名				5							35 + 若干名			
	志願	73				29				22				17							141			
	1次合	55				9				7				10							81			
	2次受													10										
	2次合													6										
	受験	50				7				7				6							70			
	合格	27				6				5				3							41			
	入学	26				6				5				3							40			
★ 特 別 選 抜	募集	各若干名				各若干名				各若干名				各若干名				2	若干名		2 + 各若干名			
	区分	帰	IB		留1	帰	IB	科	留1	帰	IB	科	留1	帰	IB	科	留1	IB	IB		帰	IB	科	留1
	志願	33	16		13	11	10	1	11	8	8	2	11	16	6	1	12	15	2		68	57	4	47
	1次合																	9						
	受験	27	16		12	10	10	1	10	8	6	2	11	14	5	1	10	8	2		59	47	4	43
	2次合																	8						
	合格	18	15		7	4	3	1	3	2	2	0	6	4	3	1	1	4	2		28	29	2	17
	入学	11	4		3	1	2	1	2	1	0	0	4	2	1	0	0	4	2		15	13	1	9
	区分	留2	社		計	留2	社		計	留2	社		計		社		計				計	留2	社	計
	志願	12	0		74	9	0		42	4	0		33		1		36				17	25	1	202
	受験	11	0		66	8	0		39	3	0		30		1		31				10	22	1	176
	合格	4	0		44	1	0		12	1	0		11		0		9				6	6	0	82
	入学	4	0		22	1	0		7	1	0		6		0		3				6	6	0	44
合 計	募集	270				260				120				60				90	100	190	900			
	志願	915				780				429				346				299	183	482	2952			
	受験	788				669				326				271				228	157	385	2439			
	合格	363				329				150				75				93	113	206	1123			
	入学	300				296				132				63				90	100	190	981			

★特別選抜 帰：海外帰国生、IB：国際バカレッ、科：科学科バカレッ、留1/2：外国人留学生(第1期/第2期)、社：社会人

看板の重要性

- 対象資格やプロフィールを入試の名称に掲げる事により、容易に認知される。「総合型選抜」が多様な志願者の評価を掲げても、社会人などにはまず認知されない。
- 出願要件の定義の中に、多様性とともに学力担保の仕組み(英語資格、国際バカロレア、科学オリンピックコンテスト、日本留学試験)も組み込む。

一発勝負のわかりやすさ

- 受験者にとっても、評価する側にとっても、ルールが分かりやすく、納得しやすい。

日本的環境での制度設計

- アメリカの大学入試(アドミッションオフィスによる選考)とも、ヨーロッパ型の大学入試(中等教育修了資格試験の仕組みが整備されている)とも、相当かけ離れた環境。
- 入試専門の人員がなかなか割けない小規模大学では、特に工夫が必要。
- 育成型のプログラムが組み込まれた、お茶の水女子大学の「フンボルト入試」や追手門学院大学の「アサーティブ入試」の様な入試を個人的にはやりたいが...

3. 指定校推薦：信頼関係に基づく高大接続

- 2005年の法人化・学部改組にともない国際総合科学部（現：国際教養学部・国際商学部・理学部）にて新規導入。
- 当初の推薦指定校は、以前の学部で実施していた公募推薦入試（センター試験を課さない・横浜市民のみ応募可）の入学実績に応じて配分。
- 2008年度以降、指定校推薦入試以外での入学実績や、入学後の成績追跡調査などをふまえた見直しを開始。
- 入学後の成績が良いこともあり、2009年度以降は横浜市民の条件を撤廃。
 - 推薦指定校は、近隣校が多いものの、北は北海道から、南は沖縄まで、地方の高校も指定している。
- 2010年度より、医学部看護学科でも導入。
- 2018年度新設のデータサイエンス学部でも実施。

合格を前提とした指定校のグループ面接における、 理学部での試み。

- 2019年度と2020年度では、50分のグループ面接の中で、20分程度の時間を使い;

＜2019年度：マシュマロとパスタ＞

＜2020年度：新聞と輪ゴム＞

を用いた工作物を製作させた。



- 2021年度以降は、より1人1人が時間をかけて取り組めるよう、事前の課題として実験の実施を課し、報告させている。
- 2021年度「浸透圧」、2022年度「発酵」、2023年度「表面張力」

2023(令和5)年度 指定校制学校推薦型選抜 理学部の実験課題について

理学部の指定校制学校推薦型選抜の面接審査は、1組4～5名程度で約50分間のグループ面接を行います。そこでは、事前に実験課題に取り組み、面接の際に報告(1人5分程度)をしてもらいます。

【実験課題】

できるだけ身近な材料を用いて、表面張力を用いた簡単な実験をデザインして行ってください。

【報告レポートの作成と持参】

別紙のレポート用紙に、実験の概要、手順、結果、考察(科学的に面白いと思った点)を、イラストや写真などととともに記載し、それをA3版で8枚コピー(カラー・白黒いずれでも可)して、面接当日に持参してください。



4. MMIを活用した 医学科の推薦型選抜

文部科学省
大学入学者選抜
における好事例

- 2016年度より実施
- 2020年度より県外高校にも対象を拡大
- 高校からの推薦を得た優秀な現役生
(一定の条件により各校2名まで推薦可)
- 高校の評定値と英語資格による第1次選考
- 多面的に資質を評価する面接(Multiple Mini Interview)
＋大学入学共通テスト7科目の成績で最終判定
- ただし共通テストの成績は、一般選抜第1段階選抜
合格者の平均点以上であること。



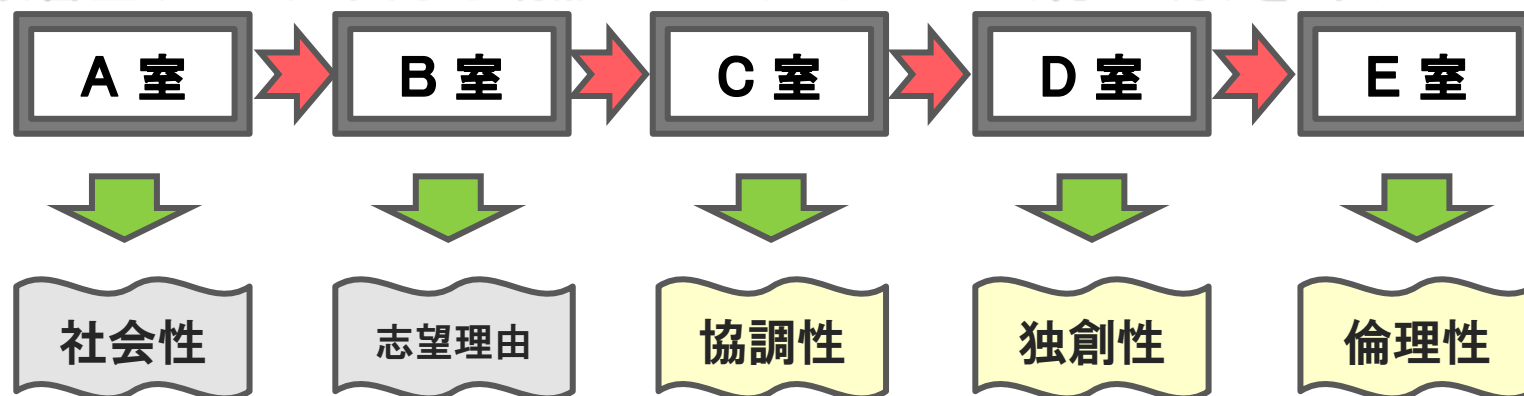


選考方法

1次:出願書類審査 評価平均値(5.0~4.3) + 英語資格点(5.0~3.0)

- 英検準1級(=4.0点)では不合格となる可能性があるので、TOEIC(L&R)で720(=4.1点)以上を目指す。

2次:面接審査(MMI) 異なる観点のミニインタビュー(約10分)を5回:1000点



3次:共通テスト成績1,000点 + 面接点1,000点 = 2,000点満点で評価

ただし 一般選抜の第1段階選抜合格者の共通テスト平均点
(2023年度は **842.99点**)を下回るときは不合格

面接のシナリオ課題例

観点	概要
協調性	修学旅行先の歴史に関するレポートを作成するグループのリーダーとして、親友A、以前トラブルになったB、マイペースのCを含む4人のグループの統率方針を問う課題。
	外来診察した患者が、処方された薬を飲みたくないと訴えている旨、薬局の薬剤師より電話があった状況での対応を問う課題。
独創性	西日本に第二富士山をつくるプロジェクトチームのリーダーとして、1.意義、2.問題点、3.どこにどのように作るか、4.資金の調達、というポイントを念頭にアイデアを出す課題。
	すべての病気が治る新しい治療法の開発を求められ、その提案内容を絵に描いて説明する課題。
倫理性	幼なじみの親友が、高校の定期試験でカンニングペーパーを持ち込んでいるところを目撃し、その後の対応を問う課題。
	「悪いニュースも知りたい」と問診票に記入していた患者に大腸がんの転移が発見され余命約半年と診断したものの、患者の長女からは本人に告知せずに治療する事を求められた状況での対応を問う課題。

5. 課題に思う事

1. 年明け入試の限界

- ◆ 年明けに実施する共通テストや個別入試では、時間的な制約から出来る事には限りがあり、無理をすれば公平性や納得性が損なわれるので、その仕組みは出来るだけシンプルに。

2. 年内入試を標準に

- ◆ 挑戦的で楽しい選抜は、年内でないと難しい。
- ◆ 総合型選抜で多くの大学が設定している専願縛り(合格した場合は必ず入学との要件)は、受験生の挑戦の機会を著しく制限し、それは高校での探求学習の普及の足かせにもなっており、何らかのルール作りが必要。
- ◆ 我が国に独特の「指定校推薦」について、それを一概に否定したり、はたまたブラックボックスにしたりせず、その果たしうる役割や健全な在り方について、高校と大学の関係者がオープンに議論すべき。

3. 文脈の中の入学者選抜・高大接続

- ◆ 入学者選抜は0年次教育という発想